

表93 集団方式

		急性灰白髄炎（ポリオ）											
		上半期（1回目）			上半期（2回目）			下半期（1回目）			下半期（2回目）		
		対象数	接種数	接種率	対象数	接種数	接種率	対象数	接種数	接種率	対象数	接種数	接種率
平成 22 年度		7,412	7,680	103.6	7,074	6,932	98.0	7,067	6,499	92.0	7,331	7,016	95.7
23		7,518	5,642	75.0	6,935	6,005	86.6	7,006	4,221	60.2	7,425	5,174	69.7
24		7,399	2,521	34.1	6,907	4,124	59.7	-	-	-	-	-	-
川 崎		897	469	52.3	926	685	74.0	-	-	-	-	-	-
幸		830	265	31.9	795	509	64.0	-	-	-	-	-	-
中 原		1,359	466	34.3	1,189	763	64.2	-	-	-	-	-	-
高 津		1,202	328	27.3	1,167	602	51.6	-	-	-	-	-	-
宮 前		1,232	387	31.4	1,154	570	49.4	-	-	-	-	-	-
多 摩		1,065	334	31.4	931	522	56.1	-	-	-	-	-	-
麻 生		814	272	33.4	745	473	63.5	-	-	-	-	-	-
専 門 / 市 外		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注10参照

- 注) 1 4種混合ワクチン（ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風）及び3種混合ワクチン（ジフテリア・百日せき・破傷風）の合計接種数を計上。（ ）内は4種混合ワクチン接種数を再掲。
- 2 対象数は、3種混合第1期追加及び日本脳炎第1期追加については、それぞれ前年度の3種混合第1期初回3回目及び日本脳炎第1期初回2回目の接種数。その他については標準的な接種年齢へ達した者への通知数。
- 3 平成24年9月1日の省令改正により、生ポリオワクチン（OPV）による集団接種から不活化ポリオワクチン（IPV）による個別接種へ移行になった。なお、改正前から任意での不活化ポリオワクチンの接種が可能であったこと等の理由から、対象者を正確に把握することが困難なため、接種数のみ計上。
- 4 平成23年5月20日の政令改正で平成23年度に限り、17歳となる日の属する年度にある者（高校2年生相当）であって、学校行事等で海外に行く者も麻しん・風しん予防接種第4期の対象者となった。接種数は、（ ）内に別掲。
- 5 平成17年5月30日に厚生労働省健康局結核感染症課長より「定期の予防接種における日本脳炎ワクチン接種の積極的勧奨の差し控え（勧告）」が出され、川崎市では第2期対象者への接種勧奨（個別通知）を見合わせているため、対象者数及び接種率を算出できない。
なお、第1期初回は平成22年4月1日、第1期追加については平成23年3月31日に厚生労働省健康局長より「日本脳炎の定期の予防接種について」の一部改正について通知が出され、標準的な接種年齢に該当する者に対して積極的な接種勧奨が再開された。
また、平成24年4月からは、第1期の未接種分（平成24年度対象者：8歳及び9歳になる者）についても積極的勧奨を実施しているが、表95内の対象者数には含めない。
- 6 インフルエンザの対象数は、10月1日現在65歳以上人口。（平成22年度については11月1日現在。）
- 7 子宮頸がん等ワクチンの初回接種数については、複数回接種する場合は1回目、また1回免疫の場合については、その接種を受けた者の数を計上。なお、通知を発送していないため接種率は算出できない。
- 8 平成24年度において、17歳となる女子（高校2年生相当）については、平成23年度中に本事業により接種をうけている場合には、対象となる。接種数は、（ ）内に再掲。
- 9 平成24年9月1日の省令改正により、集団接種は上半期で終了となった。
- 10 区別の接種者数については、個別方式は川崎市医師会実施分、集団方式は保健福祉センター実施分を計上。
1 類疾病及び子宮頸がん等ワクチン接種について、接種に注意を要する者等を受け入れる予防接種専門相談医療機関（市内4医療機関）で接種を受けた者及び市内の予防接種個別協力医療機関等における接種が困難であるため市外の契約医療機関（10医療機関）において接種を受けた者は、「専門/市外」に計上。また、
2 類疾病については、市内の34医療機関及び15高齢者施設、子宮頸がん等ワクチン接種については、市内の12医療機関と個別契約。

資料：健康安全部健康危機管理担当